

Pitchari ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより
第89号

ななえ古写真物語

VOL. 89

在りし日の運動会

精進川小学校

昭和33年

東大沼



nanae historical
museum collection

そろそろ運動会の季節が近づいてきた。小学校では、その準備が進められ、賑やかになる頃だと思ふ。子どもたちの中には、ワクワクしながらその日を楽しみにしている子や、はたまた運動が苦手な子などは憂鬱に感じているのかもしれない。自分の記憶では、ラジオ体操に始まり、徒競走や組体操、綱引き、お遊戯、フォークダンスなどの競技を行い、得点を重ね最終的に紅組・白組の勝ち負けを競うもの。それが運動会であった。今も昔も、運動会はどこか日常と違うハレの行事のように思える。

そんな在りし日の運動会の様子を写したのが上の写真である。おそらく、保護者たちの競技なのだろう。高々とあげられた紐に下げられたパンをくわえようとする人、いままさにゴール目指して走り抜けようとする人。そう「パン食競争」をしている様子である。その後ろの土手には子どもたちが座り応援しているし、格子状の大きな窓ガラスが印象的な木造の体育館は、私の中にある昭和な学校といった心象に合致するものであり、どこか懐かしい雰囲気を漂わせている。どこの小学校でも見られていたような光景だが、この学校が七飯町に存在していたことを知る人も少なくなってきたかもしれない。

なぜなら、この小学校は東大沼地区にあった精進川小学校での光景だからである。以前、ピチャリ第19号にて当町の鉱山の話として「精進川鉱山」について触れたが、この小学校はまさに、鉱業が盛隆していた時期に開設していた学校である。

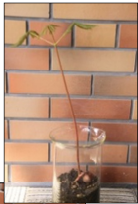
始まりは昭和22年。精進川鉱山地区に「銚子口小学校精進川分教場」として開校。その後、昭和26年に精進川小学校・精進川中学校（小学校に併置）として独立した。一時は、小学生54名、中学生14名が在学していたが、鉱山の閉山に伴い、地域の人口数が減少の一途をたどり、昭和36年3月に廃校となった。分教場の開設から実に14年ほどしか存在しなかった学校で、現在は建物も失われ、その面影も見られない。一方、銚子口小学校は、昭和30年に東大沼小学校と改名し、現在に至っている。

おそらく、東大沼小学校を知る人は多いだろうが、その分教場として存在した精進川小学校と、賑々しくこのような運動会が開かれていたことを記憶する人は少ないだろう。

写真は往時の記憶を記録へと変換し、後世に伝えている。そして、ヒトは記録という記憶の積み重ねの上で暮らしている。

22日

当館友の会の皆さんが、野草園の整備をして下さいました。低木を覆っていたムシロをはずしたり、標示板を取り付けたり、枯葉を除去したりと、これから来館者の目を楽しませる準備が整いました。見本園のほか3か所ある野草園、是非皆さまご覧ください。



トチノキ

フォレストコーミングの講師もお願いしている金澤氏から、観察用にと、発芽中のトチノキを頂きました。現在、鉢植えとビーカーで育成していますが、10日ほどで40cm位も伸び、葉を広げています。この時期の植物たちの成長スピードにはいつも驚かされます。トチノキは玄関に飾り、いつでも見ることが出来ますので、楽しんで頂ければ幸いです。



25日

27年度のジュニア探検クラブが始まりました。今年は25名の子どもたちと一緒に活動します。この日は開講式。ひとりずつ館長から会員証が渡され、自己紹介をしてもらいました。また、リンゴの枝を利用したバードコール作りにも挑戦。午後からは、学芸員の案内で歴史館内の見学をしました。ちょっと緊張気味な子どもたちでしたが、これから一年間色々な体験をしていく中で段々と慣れていくことでしょう。



新収蔵資料展を開催しています！



現在、企画展示室におきまして「新収蔵資料展2012～2014」を開催しております。この展示は、生活用具から絵画、剥製、古写真などなど、新たに寄贈された資料たちを紹介しております。6月11日までとなっておりますので、皆さまのご来館をお待ちしております。

6月の休館日はありません。

多肉の森？

当館の掃除用具入れで長年眠っていたブリキの蒸発皿。何かよい活用方法がないかと考え、多肉植物を植えてみることにしました。風変わりな姿の植物たちは、ロビーにて見ることが出来ます。



編集後記 ~tawagoto~

陽気に誘われて、ある植物を探しに近場の森をさまよってきた。柔らかな光を透過する葉、はやくも鳴きはじめたハルゼミ、木々たちから放たれるほのかな香り。あたたかも五感が森と同化するような感覚。しかし、その恍惚とした時をさえぎる蚊の猛攻。奴らは、執拗にまとわりつき、あなたの動きはとろ過ぎるんだよ！といわんばかりに手の甲を刺される始末。そんな休日午後の出来事に、早すぎる夏の到来を感じたのだった。（やまだひさし）

Richard ~ピチャリ~
第89号

平成27年5月20日 発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail: rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp